

東北地方 3 か月予報

(3月から5月までの天候見通し)

平成25年2月25日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

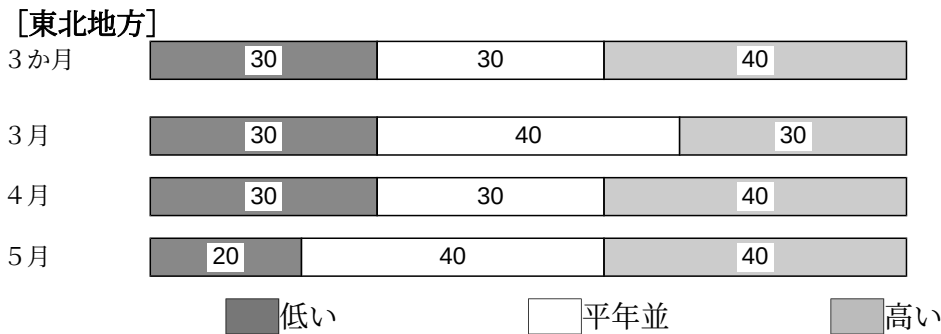
3月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

4月 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

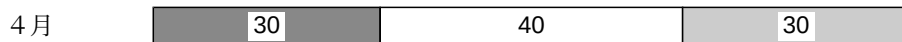
<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

<<気温>>

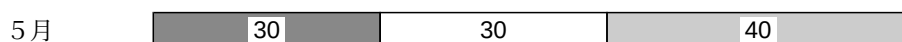
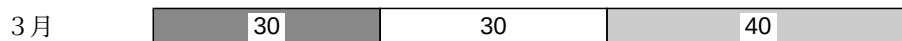
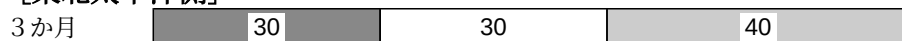


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<次回発表予定等>

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月1日

3 か月予報：3月25日（月） 14時

なお、3月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用下さい。

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月
青森	2.4	8.3	13.3	8.0	69.9	63.4	80.6	213.9	130.5	182.3	201.0	513.8
深浦	2.9	8.5	13.2	8.2	78.0	87.1	116.1	281.2	110.1	173.0	191.2	474.3
むつ	1.8	7.4	12.1	7.1	82.0	80.7	98.7	261.4	146.4	188.5	195.0	529.8
八戸	2.7	8.5	13.1	8.1	52.0	64.3	89.3	205.5	168.1	188.9	197.0	554.0
秋田	3.6	9.6	14.6	9.3	96.5	112.8	122.8	332.0	124.7	170.4	182.0	477.1
盛岡	2.2	8.6	14.0	8.3	80.5	87.5	102.7	270.7	160.4	173.7	185.4	519.5
大船渡	3.8	9.2	13.7	8.9	98.0	142.8	145.2	385.9	157.6	173.0	180.3	511.0
宮古	3.3	8.7	13.0	8.4	82.1	100.6	93.9	276.5	178.6	189.3	181.2	549.9
仙台	4.9	10.3	15.0	10.1	68.2	97.6	109.9	275.7	177.0	188.5	185.2	550.7
石巻	4.1	9.4	14.0	9.1	71.1	93.2	92.3	256.6	185.0	191.3	193.2	569.4
山形	3.5	10.1	15.7	9.7	68.6	68.4	75.4	212.4	140.3	176.1	191.5	507.9
新庄	2.2	8.5	14.4	8.3	115.9	96.3	104.7	316.9	111.9	156.4	170.4	437.9
酒田	4.6	10.2	15.3	10.0	106.7	102.4	121.4	330.5	117.2	172.4	191.2	480.8
福島	5.3	11.5	16.6	11.1	75.6	81.0	92.6	249.2	174.2	186.4	187.5	548.1
若松	3.3	10.0	15.7	9.7	71.7	64.3	80.0	216.0	138.2	172.7	193.6	504.4
白河	3.9	10.0	15.0	9.6	78.2	96.4	121.2	295.8	176.8	182.6	177.6	537.0
小名浜	6.6	11.3	15.2	11.0	107.5	125.3	142.0	374.8	185.5	188.8	188.6	563.0

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	3月	4月	5月	3月～5月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.4～+0.3	-0.4～+0.5	-0.3～+0.5	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.4～+0.2	-0.4～+0.3	-0.1～+0.4	-0.2～+0.4
	東北太平洋側	-0.4～+0.3	-0.2～+0.5	-0.4～+0.6	-0.2～+0.5
降水量平年比(%)	東北地方	89～116	88～115	86～117	95～105
	東北日本海側	85～116	89～115	83～109	95～106
	東北太平洋側	82～115	81～118	83～115	91～103
日照時間平年比(%)	東北地方	93～105	94～106	95～104	98～104
	東北日本海側	95～107	94～107	96～102	97～106
	東北太平洋側	95～104	95～105	95～105	98～102

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料（3～5月）

平成25年2月25日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

3～5月	
3月	
4月	
5月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

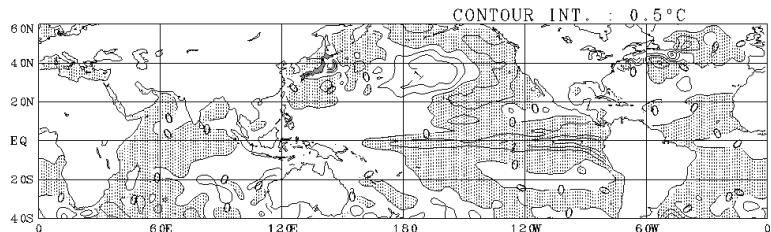
2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋熱帯域で負偏差、西部太平洋熱帯域で正偏差、中部・東部太平洋赤道域で負偏差の予想。東部太平洋赤道域は負偏差だが、春の間にこの傾向は弱まり、ラニーニャ現象の発生に至らない可能性が大きい。

対流活動(図略)は、海面水温が平年より高いインドからフィリピンの東にかけて平年より活発となり、亜熱帯ジェット気流はユーラシア大陸で平年より北寄りを流れる。日本付近で南に蛇行するが位置は平年並で、日本の東で北に蛇行し平年より北寄りを流れる見込み。

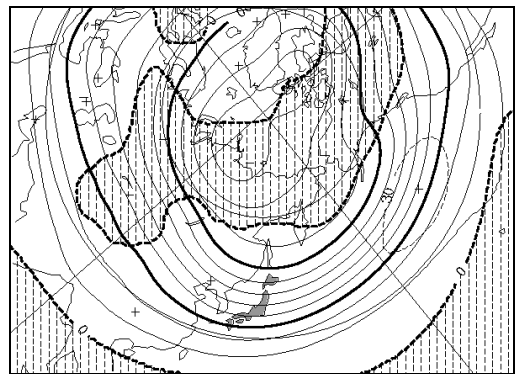
500hPa 高度(中図)は、亜熱帯ジェット気流が平年より北寄りであることに対応して、中緯度帯で広く正偏差となる。日本の東の太平洋高気圧は平年より北側の位置で強いいため、北日本へは暖気が流れ込みやすく、低気圧の影響を受けやすい時期があるとみられる。

東北地方では、12月から平年より低い気温で経過しているが、3月は平年並、4月からはやや高い傾向の気温が予想される。また、降水量は東北太平洋側を中心にやや多い傾向となる見込み。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差。



3 か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図

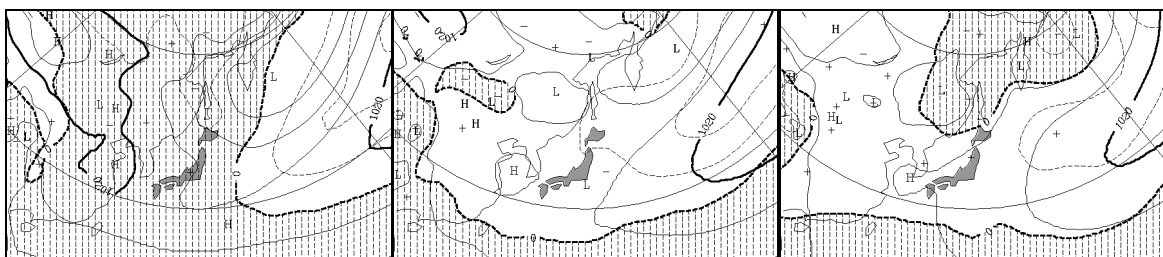
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

3月: 日本付近は負偏差に覆われ、北海道の北で偏差が大きい。アリューシャン低気圧は平年より日本の近くで強いが、シベリア高気圧は平年より弱いため、冬型の気圧配置は平年並の見込み。東北地方では低気圧の影響を受けやすく、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受ける。気温は平年並だが、降水量はやや多い傾向と予想する。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

4月: 日本付近は広く正偏差に覆われる。日本付近の等圧線の間隔は広くなり、日本の東では太平洋高気圧が北に張り出す予想。日本付近を高気圧と低気圧が交互に通るようになり、東北地方の天気は数日の周期で変わり、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

5月: 4月と同様に、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通るが、東北地方では平年よりも南東の風が吹きやすいため、気温は高い傾向、東北太平洋側の降水量はやや多い傾向と予想する。東北地方の天気は数日の周期で変わる見込み。



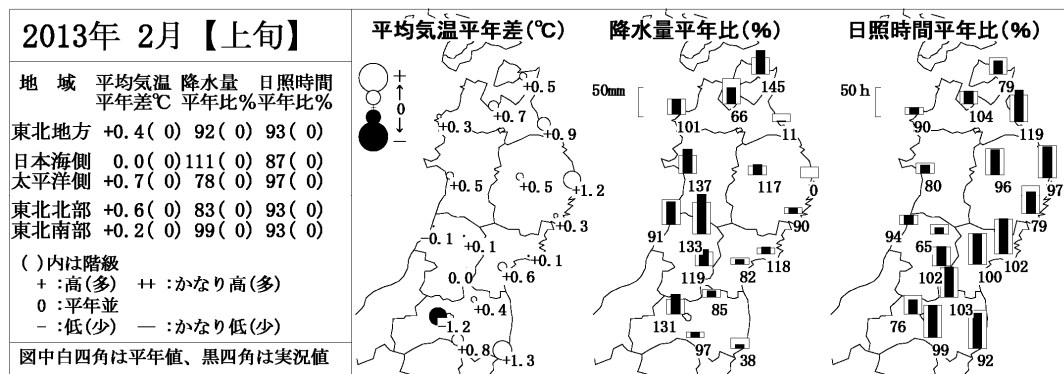
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から3月、4月、5月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

2月上旬：この期間、低気圧や前線、気圧の谷が次々と通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側の天気は短い周期で変わった。気温は平年並だったが、期間のはじめは暖気の影響で高く、期間の終わりは寒気の影響で低かった。7日は低気圧の影響で秋田県、岩手県、山形県で、8日と10日は冬型の気圧配置の影響で東北日本海側を中心に大雪となり、10日は山形県で日降雪量50cm以上の所があった。

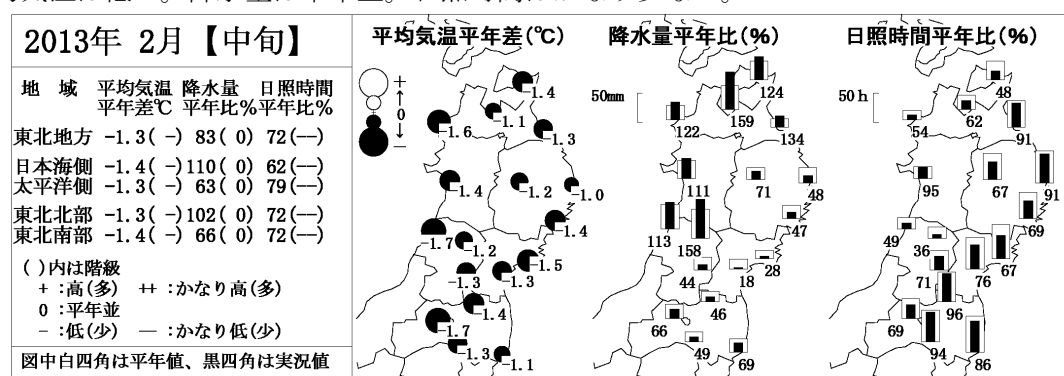
平均気温は平年並。降水量は平年並。日照時間は平年並。



2月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

2月中旬：この期間、高気圧と低気圧が短い周期で通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。東北地方では曇りや雪の日が多かった。期間のはじめと後半に寒気の影響を受けたため、気温は低かった。本州の南岸を東に進んだ低気圧の影響を受けた日がたびたびあり、日照時間はかなり少なかった。11日、15日から16日にかけて、19日から20日にかけては冬型の気圧配置の影響で東北日本海側で大雪となり、16日は青森県で日降雪量50cm以上の所があった。

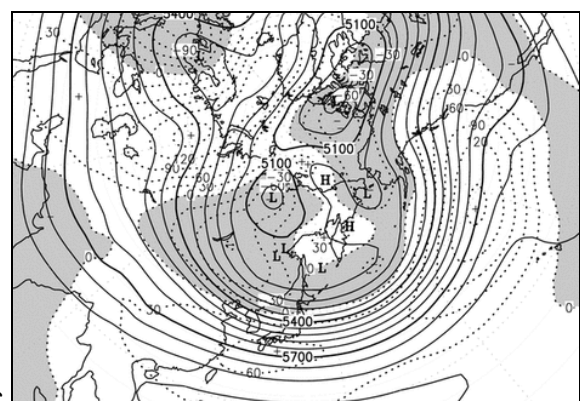
平均気温は低い。降水量は平年並。日照時間はかなり少ない。



2月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

4. 今月の循環場の特徴

2月(20日まで)：500hPa 高度は、偏西風の蛇行が明瞭で、西シベリアと太平洋北東部で正偏差となり、気圧の尾根が発達した一方、バイカル湖を中心に負偏差となり、気圧の谷はこの方面で深まった。日本付近は、北日本で負偏差、その南で正偏差となり、気温の南北勾配が大きく低気圧の影響を受けやすかった。シベリア高気圧、アリリューシャン低気圧はともに平年より強く、冬型の気圧配置は強かった。東北地方は、低気圧の影響を受けやすく、低気圧の通過後は寒気が流れ込み、中旬は低温となった。



2月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
3月	12.7	13.9	12.0	14.7	17.6	11.2	19.4	7.2	14.4	11.7	19.2	8.2
4月	17.2	9.4	16.0	11.3	16.6	10.5	18.0	8.0	16.6	9.1	18.2	7.4
5月	17.4	9.7	16.1	11.0	16.3	10.3	16.2	9.0	16.9	9.0	16.6	8.1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。